



感染対策の基礎知識

東2病棟 感染対策委員 長谷部 多恵

当院に入社して10月で1年が経ちました。先月より院内感染対策委員となり、感染対策について正しく理解し、実践していきたいと思います。

<感染対策の基礎知識>



感染は、病原体、感染経路および宿主の3つの要因があって成立します。
<感染対策の柱>

- I 病原体の排除：病原体となる可能性のあるものとして、嘔吐物、排泄物、血液、分泌物（喀痰・膿）、使用した器具（注射針・ガーゼ）や触れた手があります。
- II 感染経路の遮断：感染経路には、接触（ノロウイルス、MRSA、疥癬など）飛沫（インフルエンザ、風疹など）空気（結核、麻疹、水痘）感染があります。高齢者施設や病院において、感染経路を遮断するためには、病原体を持ち込まないこと、持ち出さないこと、拡げないことへの配慮が必要となります。職員は日常から健康管理を心がける事が必要であり、外部から病原体を持ち込ませない様に留意することが重要になります。
- III 宿主抗力の向上
高齢者は感染症に対する抵抗力が弱いことから、早期発見、早期の対応が重要になります。
健康状態を把握するために、栄養状態の把握、食事摂取量、定期的なバイタルサイン測定を行うことが有効です。「普段の反応と違う」「今日は笑顔が見らない」な



★今年もインフルエンザが流行する季節が訪れました。

今後、面会者へのマスク着用をお願いすることがあります。又 面会制限が必要となることもありますので、ご協力をお願いします。

マスクの着用は、鼻からあごまでを確実に覆い、隙間のないようにつける。同じマスクを何度も使いまわしはせず、取り替えましょう。

第8回家族のつどい開催

東1病棟 ふれあいデイ委員 梶原 国宏

今年も9月12日に第8回家族のつどいが開催されました。各病棟の御家族合わせて五十数名が作業療法室に会し、認知症ケア専門士の羽野伸司さんより「認知症の方に対する看護・介護の視点について」と題しお話しがありました。「看護」「ケア」「ケアリング」などの他、認知症の型やHDS-R、認知症ケアの基本や認知症の予防についてなど、参加された御家族は熱心に耳を傾けていました。

その後、病棟毎に分かれた懇談会では、「いつも父を綺麗にいただきありがとうございます」等スタッフへの感謝の言葉や、認知症発症前から当院へ入院するまでの認知症の経過を経験談としてお話し下さった方、面会に来た時に認知症の父にどのような話しや声掛けが良いのか等、様々な御家族の思いを聞く事ができました。

今回家族のつどいに参加して、御家族の思いは御家族とお話しをする事で私達に伝わってきます。面会に来られた御家族には積極的に声を掛け、御家族の思いを患者さんとの関わりに繋げていきたいと感じました。

作業療法だより

作業療法士 中山 真一

当院の敷地では木々が赤や黄色に色を変え、朝晩は寒さも感じる今日この頃です。少し寒さを感じるようになると当院の文化祭も目前です。

文化祭では、各病棟の作品を展示しているのですが、病棟では文化祭に向けて、患者さんと職員が出品する作品の制作を行っている姿が見受けられました。作品作りを一緒に行っていると他の患者さんが興味を持たれ、

「何を作りよるかい？」と寄って来て手伝ってくれていました。作っている途中は「これは何が出来るんね？」など、作品の内容にも興味を持ちながら、一緒に制作を行われ、作品が出来上がったときには、「まあ、立派になったね！」と喜ばれる姿もみられていました。

時間が経つと一緒に作ったことを忘れてしまう方もいらっしゃいますが、制作を行っている時の談笑や出来上がった時の喜ばれる姿にとっても意味があるのではないかと思います。

今後も皆さんに助けをいただきながら、季節を感じられる作品作りを行っていきたいと思います。



医療法人百花会 上野公園病院

通所リハビリ ふきのとう
居宅介護支援センターうえの

ホームページアドレス
<http://www.uenokoen-hospital.jp/>
E-mail
uenokoen-hp@qiga.ocn.ne.jp

